

2023 年度
(第 9 期)
事業計画書

自 2023 年 1 月 1 日
至 2023 年 12 月 31 日

公益財団法人 杉浦記念財団

2023年度（第9期）事業計画書

1. 公益目的事業

(1) 助成・褒賞事業（公1）

地域医療・福祉の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞（定款第4条第1項第1号）「杉浦地域医療振興助成」、「杉浦地域医療振興賞」の第12回の募集・選考・授与を実施します。また、第12回助成・褒賞の授与対象の内容、第11回助成の成果報告を当財団ホームページに公表します。なお、助成対象の研究論文の投稿を支援するため、必要に応じて掲載料の支給等を行います。

A. 第12回杉浦地域医療振興助成を下記要領で募集します。

助成の対象	「地域包括ケアの実現」「健康寿命の延伸」の分野で、優れた活動や研究を行っている個人・団体。
助成の内容	「杉浦地域医療振興助成」として個人・団体に対して助成。 総額 1,000 万円（研究分野 700 万円、活動分野 300 万円を目安） 助成金交付日 2023 年 5 月 31 日
募集、選考等	募集要項等のホームページ掲載のほか、学会、団体等への情報発信により告知し、応募者の中から選考委員会が選定。 募集期間 2023 年 1 月 1 日～同年 2 月 28 日
その他	2023 年 7 月 20 日に授与式を実施。

B. 第12回杉浦地域医療振興賞を下記要領で募集します。

褒賞の対象	地域医療振興の分野で、顕著な業績をあげ、継続して活躍中の個人・団体。
褒賞の内容	「杉浦地域医療振興賞」として個人・団体を褒賞。 正賞 記念品、副賞 金 200 万円を上限として総額 600 万円
募集、選考等	募集要項等のホームページ掲載のほか、学会、団体等への情報発信により告知し、自薦・他薦を問わず被推薦者の中から審査委員会が選定。 募集期間 2022 年 10 月 1 日～同年 12 月 31 日
その他	2023 年 7 月 20 日に授与式を実施。

収支予算書（助成・褒賞事業）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	28,090,350	28,627,200	△536,850
消耗品費	10,000	10,000	0
印刷製本費	3,000,000	3,740,000	△740,000
その他	3,000,000	3,740,000	△740,000
諸謝金	1,450,000	2,400,000	△950,000
選考委員謝礼	1,450,000	1,400,000	50,000
その他	0	1,000,000	△1,000,000
支払手数料	22,500	22,500	0
その他	22,500	22,500	0
租税公課	811,850	927,700	△115,850
給料手当	1,710,000	0	1,710,000
支払助成金	10,000,000	10,000,000	0
支払寄付金	6,000,000	6,000,000	0
広告宣伝費	35,000	76,000	△41,000
会議費	3,796,000	3,806,000	△10,000
助成・褒賞贈呈式会議費用	3,796,000	3,806,000	△10,000
旅費交通費	1,015,000	1,405,000	△390,000
選考委員旅費交通費	165,000	155,000	10,000
贈呈式参加者旅費交通費	600,000	1,000,000	△400,000
その他	250,000	250,000	0
通信運搬費	240,000	240,000	0
経常費用計	28,090,350	28,627,200	△536,850
評価損益等調整前当期経常増減額	△28,090,350	△28,627,200	536,850
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△28,090,350	△28,627,200	536,850

経常費用予算は2,809万円で、前年度予算と比較して54万円減少しています。主な増減は以下のとおりです。

- 職員の人件費を各事業の業務負荷に応じて配分したことに伴い、給料手当を増加させたこと（+171万円）
- 授与式ゲスト講演に係る諸謝金を削除したこと（△100万円）
- 授与式映像制作に係る印刷製本費を削減したこと（△63万円）
- 前年度実績等を勘案し、授与対象者の旅費交通費を減少させたこと（△40万円）

(2) 調査・研究事業（公2）

地域医療・福祉の振興に係る社会実験への助成、参画（定款第4条第1項第2号）

A. 都市型の看護介護医療等連携研究会

都市型の看護介護医療等連携研究会を東京都を拠点とするオンライン会議形態で年6回（1月、3月、5月、7月、9月、11月）開催します。

都市に住む高齢者が住み慣れた地域に住み続けることを前提に、これを支援する多職種協働のあるべき姿を追究していきます。

なお、同研究会での講演内容は、「地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修」のコンテンツに活用します。

収支予算書（調査・研究事業A）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	2,400,500	3,932,940	△1,532,440
印刷製本費	600,000	2,900,000	△2,300,000
その他	600,000	2,900,000	△2,300,000
諸謝金	660,000	660,000	0
セミナー講師謝礼	480,000	480,000	0
その他	180,000	180,000	0
租税公課	83,500	297,540	△214,040
給料手当	822,000	0	822,000
会議費	27,000	9,600	17,400
研究会会議費	27,000	9,600	17,400
旅費交通費	198,000	49,800	148,200
研究会会員旅費交通費	72,000	49,800	22,200
その他	126,000	0	126,000
通信運搬費	10,000	16,000	△6,000
経常費用計	2,400,500	3,932,940	△1,532,440
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,400,500	△3,932,940	1,532,440
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△2,400,500	△3,932,940	1,532,440

経常費用予算は240万円で、前年度予算と比較して153万円減少しています。主な増減は以下のとおりです。

- 職員の人件費を各事業の業務負荷に応じて配分したことに伴い、給料手当を増加させたこと（+82万円）
- 講演記録の冊子形態での作成終了に伴い、印刷製本費を削減したこと（△230万円）

B. 医薬品適正使用協働研究会

医薬品適正使用協働研究会を東京都を拠点とするオンライン会議形態で年 6 回（2 月、4 月、6 月、8 月、10 月、12 月）開催します。

地域包括ケアの中で、医薬品適正使用の観点から、チーム医療における協働のあり方を追究していきます。

なお、同研究会での講演内容は、「地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修」のコンテンツに活用します。

収支予算書（調査・研究事業 B）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	1,819,920	679,800	1,140,120
諸謝金	660,000	660,000	0
セミナー講師謝礼	480,000	480,000	0
その他	180,000	180,000	0
租税公課	30,720	1,800	28,920
給料手当	822,000	0	822,000
会議費	144,000	0	144,000
研究会会議費	144,000	0	144,000
旅費交通費	153,000	18,000	135,000
研究会会員旅費交通費	63,000	18,000	45,000
その他	90,000	0	90,000
通信運搬費	10,200	0	10,200
経常費用計	1,819,920	679,800	1,140,120
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,819,920	△679,800	△1,140,120
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,819,920	△679,800	△1,140,120

経常費用予算は 182 万円で、前年度予算と比較して 114 万円増加しています。主な増減は以下のとおりです。

- 職員の人件費を各事業の業務負荷に応じて配分したことに伴い、給料手当を増加させたこと（+82 万円）
- 講師、座長ほか数名が東京拠点に集合して講演が実施される場合を 6 回開催のうち 3 回見込み、会議費、旅費交通費等を増加させたこと（+31 万円）

C. 愛知県地域再生・まちづくり研究会

愛知県地域再生・まちづくり研究会を愛知県で年6回（2月、4月、6月、8月、10月、12月）開催します。

「未来へ広がる芽生えづくり」をテーマとし、現役世代（30、40代）が有識者と共に持続的かつ自律的なまちづくりを広く社会に浸透させるための芽生えとなる施策を追究していきます。

収支予算書（調査・研究事業C）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	2,238,800	6,203,820	△3,965,020
印刷製本費	0	1,930,000	△1,930,000
その他	0	1,930,000	△1,930,000
諸謝金	660,000	1,720,000	△1,060,000
セミナー講師謝礼	480,000	1,000,000	△520,000
その他	180,000	720,000	△540,000
支払手数料	4,200	24,200	△20,000
その他	4,200	24,200	△20,000
租税公課	68,800	407,620	△338,820
給料手当	822,000	0	822,000
広告宣伝費	0	300,000	△300,000
会議費	288,000	1,048,000	△760,000
研究会会議費	288,000	48,000	240,000
セミナー会議費用	0	1,000,000	△1,000,000
旅費交通費	304,000	659,000	△355,000
研究会会員旅費交通費	300,000	657,000	△357,000
その他	4,000	2,000	2,000
通信運搬費	91,800	115,000	△23,200
経常費用計	2,238,800	6,203,820	△3,965,020
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,238,800	△6,203,820	3,965,020
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△2,238,800	△6,203,820	3,965,020

経常費用予算は224万円で、前年度予算と比較して397万円減少しています。主な増減は以下のとおりです。

- 職員の人件費を各事業の業務負荷に応じて配分したことに伴い、給料手当を増加させたこと（+82万円）
- 当年度はシンポジウムの開催、報告集の作成を実施しないため、印刷製本費、諸謝金、会議費、旅費交通費等を削減したこと（△470万円）

(3) 講座・セミナー事業（一般対象）（公3）

その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第1項第6号）

A. 健康増進セミナー

健康増進セミナーを5会場（埼玉県川口市・愛知県大府市・大阪府大阪市淀川区・大阪府大阪市城東区・石川県金沢市の）のオンライン中継で4回程度開催します。年老いても、健やかで豊かな暮らしを実現していただくために有益な講演会を実施します。

収支予算書（講座・セミナー事業（一般対象）A）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	3,558,699	1,978,000	1,580,699
消耗品費	10,000	0	10,000
印刷製本費	1,337,000	980,000	357,000
その他	1,337,000	980,000	357,000
諸謝金	320,000	320,000	0
セミナー講師謝礼	320,000	320,000	0
租税公課	169,300	46,800	122,500
給料手当	1,044,000	0	1,044,000
会議費	8,000	0	8,000
セミナー会議費用	8,000	0	8,000
旅費交通費	188,000	188,000	0
セミナー講師旅費交通費	28,000	28,000	0
その他	160,000	160,000	0
通信運搬費	150,000	0	150,000
減価償却費	332,399	443,200	△110,801
経常費用計	3,558,699	1,978,000	1,580,699
評価損益等調整前当期経常増減額	△3,558,699	△1,978,000	△1,580,699
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△3,558,699	△1,978,000	△1,580,699

経常費用予算は356万円で、前年度予算と比較して158万円増加しています。主な要因は、以下のとおりです。

- 職員の人件費を各事業の業務負荷に応じて配分したことに伴い、給料手当を増加させたこと（+104万円）
- 前年度実績等を勘案し、印刷製本費、通信運搬費を増加させたこと（+51万円）

(4) 講座・セミナー事業（専門家対象）（公4）

医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成事業（定款第4条第1項第3号）

地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修を引き続き実施し、医師、看護師、その他スタッフとの密接な連携のもとに地域医療における療養環境の充実に貢献することができる薬剤師の育成を図ります。

受講者は、研修認定薬剤師制度（公益財団法人日本薬剤師研修センターが全薬剤師の研修受講状況を記録し、一定期間内（新規4年以内・更新3年ごと）に所定の単位を取得した薬剤師をその申請に基づき「研修認定薬剤師」に認定する制度）における集合研修の単位を取得することができます。

収支予算書（講座・セミナー事業（専門家対象））

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	12,728,000	8,909,600	3,818,400
研修事業会費	12,728,000	8,909,600	3,818,400
経常収益計	12,728,000	8,909,600	3,818,400
(2) 経常費用			
事業費	13,105,950	9,014,940	4,091,010
印刷製本費	2,500,000	2,400,000	100,000
教材撮影編集費	2,500,000	2,400,000	100,000
諸謝金	1,500,000	950,000	550,000
セミナー講師謝礼	1,500,000	950,000	550,000
支払手数料	5,695,000	4,061,000	1,634,000
ID管理費	2,442,000	2,118,000	324,000
日本薬剤師研修センター認定費	505,000	595,000	△90,000
その他	2,748,000	1,348,000	1,400,000
租税公課	△415,300	△4,060	△411,240
給料手当	2,772,000	0	2,772,000
広告宣伝費	80,000	40,000	40,000
旅費交通費	288,000	168,000	120,000
セミナー講師旅費交通費	48,000	48,000	0
その他	240,000	120,000	120,000
通信運搬費	12,000	900,000	△888,000
減価償却費	674,250	500,000	174,250
経常費用計	13,105,950	9,014,940	4,091,010
評価損益等調整前当期経常増減額	△377,950	△105,340	△272,610
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△377,950	△105,340	△272,610

経常収益予算は1,273万円で、前年度予算と比較して382万円増加しています。これは前年度実績を加味したものです。

また、経常費用予算は1,311万円で、前年度予算と比較して409万円増加しています。主な増減は以下のとおりです。

- ▶ 職員の人件費を各事業の業務負荷に応じて配分したことに伴い、給料手当を増加させたこと（+277万円）
- ▶ 受講会員増加、受講コンテンツ増強を見込み、印刷製本費、諸謝金、支払手数料を増加させたこと（+228万円）
- ▶ 薬剤師研修・認定電子システム（略称：PECS）の稼働（研修受講シールの廃止）に伴い、通信運搬費を減少させたこと（△89万円）

(5) 公益事業共通

公益事業共通には、個別の公益事業に属さない収益や費用を各公益事業共通のものとして計上します。

収支予算書（公益事業共通）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	11,172,338	11,172,338	0
基本財産受取利息	46,338	46,338	0
基本財産受取配当金	11,126,000	11,126,000	0
受取寄付金	27,511,881	33,792,762	△6,280,881
受取寄付金	27,511,881	33,792,762	△6,280,881
経常収益計	38,684,219	44,965,100	△6,280,881
(2) 経常費用			
事業費	198,000	3,438,000	△3,240,000
支払手数料	180,000	180,000	0
その他	180,000	180,000	0
租税公課	18,000	18,000	0
給料手当	0	3,240,000	△3,240,000
経常費用計	198,000	3,438,000	△3,240,000
評価損益等調整前当期経常増減額	38,486,219	41,527,100	△3,040,881
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	38,486,219	41,527,100	△3,040,881

経常収益予算は3,868万円で、前年度予算と比較して628万円減少しています。講座・セミナー事業（専門家対象）以外は個別の収益がないため、公益事業共通の収益で各公益事業の費用を賄います。

また、経常費用予算は20万円で、前年度予算と比較して324万円減少しています。これは、職員の人件費を各事業の業務負荷に応じて配分したことに伴い、公益事業共通に給料手当を計上しないこととしたためです。

2. 一般事業

本年度の役員会の開催は、以下のとおり計画しています。

時 期	会議名【地 域】	議 題	出席予定者
3月9日	定時評議員会【愛知県】	事業報告・決算承認、評議員選任、評議員会長選定、理事選任、監事選任等	評議員 15名 理事 11名 監事 2名
	理事会【愛知県】	代表理事選定、杉浦地域医療振興賞承認等	理事 11名 監事 2名
7月20日	理事会【東京都】 *助成・褒賞授与式に合わせて開催	業務報告等	理事 11名 監事 2名
	(臨時評議員会【東京都】) *助成・褒賞授与式に合わせて適宜開催	(上程議題がある場合)	評議員 15名 理事 11名 監事 2名
12月7日	理事会【愛知県】	事業計画・収支予算承認、審査委員・諮問委員・選考委員選任、業務報告等	理事 11名 監事 2名

内閣府に対して、2023年3月31日までに第8期(2022年度)事業報告書・決算報告書を含めた定期提出書類、また、2023年12月31日までに第10期(2024年度)事業計画書・収支予算書の提出を行います。

収支予算書（一般事業）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,000,000	4,000,000	0
基本財産受取配当金	4,000,000	4,000,000	0
受取寄付金	19,488,119	17,207,238	2,280,881
受取寄付金	19,488,119	17,207,238	2,280,881
雑収益	46,338	46,338	0
受取利息	46,338	46,338	0
経常収益計	23,534,457	21,253,576	2,280,881
(2) 経常費用			
管理費	12,872,858	28,162,940	△15,290,082
役員等報酬	2,950,000	2,950,000	0
評議員報酬	1,200,000	1,200,000	0
理事報酬	1,350,000	1,350,000	0
監事報酬	400,000	400,000	0
消耗品費	40,000	40,000	0
印刷製本費	2,085,000	1,442,000	643,000
賃借料	180,000	180,000	0
支払手数料	1,025,508	1,172,160	△146,652
租税公課	619,350	658,040	△38,690
給料手当	2,256,000	7,020,000	△4,764,000
支払寄付金	300,000	10,405,000	△10,105,000
広告宣伝費	1,200,000	1,200,000	0
ホームページ関連費用	1,200,000	1,200,000	0
会議費	385,000	330,000	55,000
旅費交通費	460,000	596,000	△136,000
評議員旅費交通費	200,000	200,000	0
理事旅費交通費	194,000	280,000	△86,000
監事旅費交通費	56,000	66,000	△10,000
職員旅費交通費	10,000	50,000	△40,000
通信運搬費	318,000	1,020,240	△702,240
電話料	97,200	102,000	△4,800
その他	220,800	918,240	△697,440
減価償却費	554,000	549,500	4,500
雑費	500,000	600,000	△100,000
その他	500,000	600,000	△100,000
経常費用計	12,872,858	28,162,940	△15,290,082
評価損益等調整前当期経常増減額	10,661,599	△6,909,364	17,570,963
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	10,661,599	△6,909,364	17,570,963

経常収益予算は2,353万円で、前年度予算と比較して228万円増加しています。

また、経常費用予算は1,287万円で、前年度予算と比較して1,529万円減少しています。主な増減は以下のとおりです。

- 支払寄付金の予算規模を平年並みとしたこと（△1,011万円）
- 職員の人件費を各事業の業務負荷に応じて配分したことに伴い、給料手当を減少させた

こと (△476 万円)

- 前年度実績を勘案し、印刷製本費を増加させたこと (+64 万円)、通品運搬費を減少させたこと (△70 万円)

以 上